ここでは意図的に、平成大合併以前の市町村の境界線を用いています。 それは日本の教会 未設置地域を正確に把握するために必要なことだからです。 そうしないと、教会開拓伝道が必要 な地域の3分の2が、合併によって隠されてしまうからです。たとえば、秋田県にある8つの市町村 が平成大合併時に合併して一の市(横手市)になりました。合併前はその8つの市町村の中で、 十文字町と横手市 だけに教会があり、平鹿町、雄物川町、増田町、大森町、大雄村、山内村には 教会がなく、開拓伝道が必要な地域で した 。その後、その6つの町村の内、平鹿町と雄物川町で 教会が開拓されました。しかし、残りの4つの町村には教会が、現在に至るまでないので、 今も開拓伝道が必要であることに変わりはありません。合併後の現在の市町村境界線を元にすると、 横手市には教会があるとみなされ、増田町、大森町、大雄村、山内村の伝道の必要性が忘れ 去られてしまう危険性があるということです。 (詳細な説明: ruraljapanchurch.com)。

報の更新時期:2021年9月・ September, 2021 地図のダウンロード: To Download Maps: www.ruraljapanchurch.com

日本の四国地方 Shikoku Japan 徳島県 Tokushima Ken 現時点で教会がない市町村 黄色・緑 Municipalities With No Church Yellow/Green

Pre-Heisei Merger Municipal Boundaries were very intentionally used. This is essential to sufficiently represent the remaining unchurched areas in Japan. Otherwise, 2/3 of the 1640 areas remaining in Japan that lack their first church are in danger of being neglected or forgotten because the need is masked by the effect of the Heisei era mergers. The nature of the Heisei mergers did not change the need for churches in these areas; the mergers merely obscured it from view. For example, 8 municipalities were merged into the new city of Yokote in Akita, but 4 of them even now still do not have a single church. But since they were merged with others that did, the need for a church in the four is obscured unless pre-merger boundaries are used. (Detailed explanation: ruraljapanchurch.com).

活動を勧める教会未設置エリア Recommended Action in Unchurched Areas

平成大合併後は、併合された市町村の人口動態を把握しにくいことが多く、 そのため ここでは2,000年時点の人口データを用いています。ほとんどの地方 農村部の人口は半分くらいまで減少すると考えられています。そのため、 2000年の時点で人口7.000人未満の、地方農村部の多くの市町村は、 すでに当時より人口が減ってきており、あるいは近い将来、人口が3,500人 未満まで減少する可能性もあるかもしれません。

Population data is of necessity from the pre-merger census (the 2000 census). Based on depopulation trends, the populations of many rural areas will eventually decline to around half that level. So, those areas with less than 7000 people in the year 2000 may have soon declined to under 3500.

- 1.2000年時点で人口7,000人以上の地域:RJCPNはこの地域へ教会開拓をお勧めします。 RJCPN recommends a church plant in unchurched areas over 7000 in population (as of the year 2000).
- 2. 2000年時点ですでに人口7.000人未満で、近い将来(2030年頃)人口が3.500人未満まで減少すると 思われている地域の場合、 教会を開拓しても、その教会を自立した形で継続することが難しい と思われます。そのため、教会開拓で新たな教会を設置するよりも教会開拓以外のなんらかの方法で、この地域 の人々が彼らの地域において、キリスト教に出会うことができるための集まりを、定期的に長期間行う工夫が 必要です。車で一時間程度の距離にある教会など、誰かがその地域で、人々がキリスト教に出会う きっかけとなるような集まりを始め、そこに集まる人々との関係を長く継続する責任を持ち続ける必要があります。 できれば、何世代にもわたって長く続けるのが理想です。2000年時点で人口が7千人未満の地域の場合

When a village reaches less than about 3500 people, it might be difficult under the current depopulation conditions for a church to be sustained even if it were planted in the first place. Thus, for most unchurched areas under 7000 in population in the year AD2000 (and thus likely <3500 by now or soon to be). RJCPN recommends an alternative outreach outpost (some form of regular long-term gathering that provides local gospel access), rather than a full church plant, a) be initially put in place by someone; b) then, maintained for the long-haul by a church within an hour's drive.

凡例 Legend

教会未設置の ルーラルエ リア (地方農村部) 人口が7.000人~5万人の地域(教会未設置のルーラルエリアとは 平成大合併前の各市町村の中で、現在にいたるまで教会がない 市町村であり、その 市町村が地方農村部にあるという意味です)。 RJCPNはこの地域への教会開拓をお勧めします。 Unchurched rural area between 7.000 and 50.000 in population.

Planting a church recommended.

教会未設置の遠隔のルーラルエリア:

合併の時の人口が7,000人未満の地域。

Unchurched remote rural area under 7000 in population at the time of the mergers. RJCPN recommends an outreach outpost.

教会設置済みのルーラルエリア:人口が5万人未 満 の地域 (教会設置済みのルーラルエリアとは平成大合併前の市町村の境界線を 基準にした場合、そのエリアに現在、教会があるという意味です。 現時点で最初の教会開拓中の場合も含めています。)

Churched rural area of < 50.000 population or such an area that was unchurched but now has a church plant underway.

